

各分野における平成19年度の重点取り組み事項・実績及び平成20年度の重点取り組み事項

●安全は、事業の根幹をなす最重要課題であり、別格の取り組みとして、安全マネジメント態勢の中で取り組みを進めています。

平成19年度取り組み実績は「鉄道安全報告書」(<http://www.westjr.co.jp/houkoku/>)を、

平成20年度計画は「安全基本計画」(http://www.westjr.co.jp/anzen_kihonkeikaku/)をご覧ください。

●それ以外の10分野については、CSR推進委員会の下で取り組みを進めています。

平成19年度は、各分野でCSRの観点に立って取り組みの現状を自己評価の上、初めて重点取り組み事項を設定、まずはできるところから取り組みをスタートしました。

平成20年度は、分野毎に基本方針、中期の到達目標を設定した上で、項目をできるだけ絞り込んだ形で重点取り組み事項を設定、取り組みを進めています。

なお、上半期が終了した時点で、事項の一部見直しを行っています。

平成19年度 重点取り組み事項		実績
C S (お客様満足)	お客様の安全に向けた取り組みの推進	●車内「SOS」サインの視認性向上、告知ポスターの車内・駅への掲出 ●駅の非常ボタン告知ポスター、ベビーカーのご利用に関する啓発ポスターの掲出
	サービス向上を図るための仕組みの構築	●本社に「お客様サービス部」の設置 ●本社及び各支社におけるサービス推進体制の構築
	異常時における情報提供の充実	●インターネットサービス事業者との提携による市中への運行情報配信 ●異常時情報提供ディスプレイの設置
	接客レベルの向上	●「接客サービスマニュアル」、おほめ集「Thanks Voice」等を活用した教育・指導の実施 ●サービス指導者層の養成研修の実施(CSマインドの醸成、実務の実践訓練等)
	駅設備等の整備促進	●のぞみ停車駅のリニューアルの実施(岡山駅、新神戸駅) ●エレベーター、エスカレーター、ホーム待合室、トイレの整備
地球環境	環境管理の定着化と継続的改善	●本社、支社における環境教育の継続実施 ●当社独自の環境管理システム導入箇所への社内環境審査の継続実施
	省エネルギー・省資源の推進	●省エネルギー型の車両や機器の導入 ●駅ごみ・列車ごみのリサイクル、鉄道資材発生品の3Rの推進
	法令遵守の取り組みの推進	●改正省エネ法によるエネルギー消費量実績及び中長期削減計画の提出 ●PCB廃棄物処理計画の遂行及びPCB含有機器の保管設備の新設
	地域と一体となった環境啓発活動の推進	●「1人1日1kgCO ₂ 削減キャンペーン」への参加 ●環境展や校外学習支援など地域と一体となった環境啓発活動
	公共交通利用の促進	●パーク&ライド等の推進 ●鉄道会社等相互の連携による公共交通利用の促進
	グループ会社と一体となった取り組みの推進	●環境教育のサポート、社内環境審査を通じた指導者の育成 ●連絡会による情報の共有化と連携強化
人材・ES (働きがい)	ES (働きがい) の向上	●ES (働きがい) の向上に向けた方向性の検討
	必要な人材の確保・育成	●早期退職優遇制度、定年退職時期の見直し ●鉄道職採用の育成計画の見直し
	次世代育成支援に向けた取り組みの推進	●子育て支援ホームページの開設 ●育児等を理由に退職した社員の再就職支援の実施
	社員の心身の健康管理の充実	●健康管理システムの導入 ●メンタルヘルスの長期欠勤者の復職支援プログラムを策定
社会貢献	安全に関する研究支援	●京都大学寄附講座の開設準備(平成20年4月開講)
	地球温暖化防止の観点に立った取り組みの推進	●地域と連携した地球環境に関する情報の発信(「地球環境」分野と連携)
	交通科学博物館、梅小路蒸気機関車館の運営	●交通科学博物館の一部リニューアルの実施 ●ホームページ等でのイベント情報の発信
	(財)交通道徳協会の「鉄道少年団」活動のサポート	●鉄道少年団による列車内や駅周辺清掃、マナー向上の呼びかけ活動のサポート
コンプライアンス	駅等での清掃活動	●支社や現場での清掃活動の実施
	コンプライアンスリスクの再発防止、低減に向けた取り組みの推進	●現場でのディスカッションの継続実施 ●コンプライアンスアンケート及び現場への「モニタリング」の継続実施
	グループ会社の取り組みのサポート	●グループ会社を対象とした研修の継続実施、教育用DVDの配付
	コンプライアンス教育の充実	●階層別研修等の継続実施、グループ会社を含めた幹部向けの「トップセミナー」の開催
危機管理	新法施行、法令改正状況の把握等	●法令管理システム「法令FOCUS」を活用した関係者への周知
	重大危機事象についてのマニュアル整備、訓練等を通じた見直し	●本社を対象にした「大地震発生直後の初動マニュアル」の見直し ●地震、津波、鉄道テロへの対応訓練の実施 ●本社への社員安否確認システムの導入
	危機事象の洗い出し及び対応策の整備	●直近の危機事象のリスクマップへの反映 ●リスク事象の速報の徹底
情報セキュリティ	個人情報保護の現場点検・指導	●現場での自主点検、支社による点検指導の実施 ●個人情報多数取扱い拠点への第三者機関による監査の実施
	情報セキュリティ教育の深度化	●本社でのeラーニングシステムによる教育の実施 ●情報セキュリティ遵守事項の改訂と全社員への携帯用カード配付
	グループ会社の取り組みのサポート	●情報セキュリティ・IT内部統制に関する規程等整備のサポート
	政府が推進する重要インフラの情報セキュリティ対策対応	●鉄道事業者向けガイドラインに基づく重要インフラシステムの点検 ●IT障害の情報共有体制の整備、調査分析・対策トレースの継続実施
グリーン	積極的な企業情報の発信	●社長会見等による定期的な情報発信の継続 ●駅・車内ポスターや雑誌を活用した安全性向上の取り組みの情報発信 ●広報部を主管箇所とした企業ホームページの社内管理体制の整理
	人権啓発の取り組み状況の把握	●各職場における年間業務計画に基づく取り組みの確認と問題点の把握
	人権研修の充実	●社員研修用の教材提供と推進員研修及び人権指導者研修の充実
	グループ会社の取り組みのサポート	●人権規約の作成による推進体制の整備 ●グループ会社を対象とした人権研修の実施と研修教材の提供
資材調達	法令等改正にあわせた化学物質の規制への対応	●購入材料等のアスベスト、その他使用禁止物質含有の有無の確認
	PRTR法への対応	●新規調達物品のMSDS(化学物質安全データシート)の提出要請及び内容確認に関するルール化
	グリーン調達の積極的な推進	●特定化学物質を含む物品(PRTR対象物品)について取引先へ代替品提案を募集

平成20年度 重点取り組み事項	
安心・信頼してご利用いただくための設備等の整備	
CSマインドの醸成	
「お客様の声」と「社員の声(社員からの提案)」の活用	
フロントサービスの向上	
便利にご予約・ご購入していただくための仕組みの整備	
CO ₂ 削減に向けたグループ全体での取り組みの推進	
省資源活動の推進	
環境コミュニケーションの充実	
法令遵守を基本とした環境管理の推進	
社員一人ひとりの地球環境保護の取り組み(「考動エコ」)の推進	
「お客様参加・協働型」の取り組みの推進	
ES (働きがい) の向上	
必要な人材の確保・育成	
ワーク・ライフ・バランスの取り組みの充実	
社員の心身の健康管理の充実	
社会貢献活動の実態把握、全体像の整理	
支社・現場での活動の充実 (駅や車両区所における見学受け入れ、地域清掃活動)	
リスクマップの見直し及び対処すべきリスクの優先順位づけ	
コンプライアンスに関する社員向け教材の充実	
新型インフルエンザへの対応方針の検討	
重大な危機事象に係る訓練内容の充実	
情報システム部門のIT内部統制の充実	
情報セキュリティの新たな技術的対策等の検討・実施	
情報セキュリティ(個人情報保護)教育・点検の充実	
異常時の広報体制の整備	
ステークホルダー毎の適切な情報発信とモニタリングの実施	
グループ会社の取り組みの向上	
人権啓発の取り組みの状況の確認と問題点の把握	
人権研修教材の充実と推進員のレベルアップ	
取引先に法令遵守を要請するための取引基本契約の見直し	
取引先の品質管理体制の確認	
グリーン調達の拡大(事務用品のエコ商品化)	